

宇都宮市立清原中央小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
自分の考えをもち、豊かに表現できる力の育成	・ペアやグループ、全体などの形態を工夫するとともに、発達段階に応じた話し方・聞き方のスキルを身に付けさせる。 ・めあてを提示し、課題意識をもって学習に取り組むことができるようにする。	「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の設問では、学校全体の肯定割合は市の肯定割合をやや下回った。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	・学年内で宿題の量や家庭学習の仕方をそろえる。自主学習の内容や方法を示し、良い実践のものをクラスに紹介する。 ・「家庭学習振り返り週間」を実施し、保護者にも協力をしてもらおう機会を設ける。	「宿題はきちんとやっている」の設問では、市の肯定割合とほぼ同程度であったが、「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の設問では、全体的に市の肯定割合を下回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・低学年からペアやグループ、全体での話し合いを充実させることで、学び合う授業の確立を図り、話し合いに進んで参加したり、話し合うことで自分の考えを深めたり広めたりすることができる児童を育成していく。
- ・家庭学習については、学年で内容をよく検討し、めあてをもって取り組めるようにする。また、低学年から自主学習を推奨し、様々な内容を紹介していく。さらに、「家庭学習振り返り週間」を実施し、保護者にも励まし認めてもらえる機会を増やしていくことで、自主的に取り組む児童を増やしていきたい。
- ・ICTを効果的に活用することで、興味・関心を高め、活用の幅を広げ自発的に学習することに慣れさせていきたい。